

学校だより

令和4年12月23日発行

第2号



富山県立富山聴覚総合支援学校 富山県富山市下奥井1丁目9番56号

TEL (076)441-9172 FAX (076)441-9188

E-mail toyamachokaku@ed.pref.toyama.jp

URL <http://www.toyamat-sh.tym.ed.jp/>

「安心・安全」

教頭 大村 和彦

4月より、本校中学部、高等部教頭に赴任しました。

今年の2学期は、昨年と違い、休校になることなく、無事に9月1日よりスタートすることができました。「安心・安全」に幼児児童生徒が学校生活を送ることができることを第一に考えてきました。

この2学期を振り返ると、9月には、第51回北陸地区聾教育研究会研究大会を本校が事務局となり、授業公開、講演会、分科会を開催しました。来校する教職員を限定した形で行い、オンラインを中心に進めました。10月の学習発表会も、保護者、家族限定の出席として、半日の実施としました。幼、小、中学部の舞台発表、高等部各学科の販売・展示・実演がありました。そして、修学旅行については、高等部（10月26日～28日）は、2泊3日で東京浅草を中心に、チームラボ、アクアパーク品川、お台場見学、雷おこし体験を行いました。中学部（11月1日～2日）が2泊から1泊に短縮し、京都方面を取り止め、USJと大阪城の2か所を訪問してきました。実施に際し、県内の中学校、高等学校、特別支援学校の修学旅行の実施についての情報収集をはじめ、コロナ対策、保護者説明会の実施、実施期間の健康観察など、「安心・安全」に帰って来ることを考えて、私自身は、2週間の間に、東京と大阪に引率してきました。私自身も、コロナ対策として、旅行前の体調管理を徹底してきました。おかげで、感染することなく、中・高等部と楽しい思い出を作ることができました。

それから、今学期、とても嬉しいことがありました。11月に香川県で行われた、第59回全国聾学校卓球大会において、専攻科2年の生徒が優勝しました。今年度が最後のチャンスとなり、自分から出たいと申し出て、出場が叶いました。出発当日、サンダーバードが運休するというハプニングもありましたが、なんとか、香川入りすることができました。彼のおかげで、本校の正面玄関のガラスケースの中に新たな賞状、トロフィー、メダルを飾ることが出来ました。彼は、「優勝して、飾りたかった」と校長先生に優勝報告に来た際に、話してくれました。彼もまた、大会前後は感染しないように、体調管理に努めていました。

まだまだ、新型コロナウイルスの収束はみえませんが、これからも「安心・安全」な学校を目指してまいります。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、関係諸機関各位のご理解、ご支援をよろしくお願いたします。

寄贈品

・教育振興会より除雪機を寄贈していただきました。
厚く御礼申し上げます。

・マット(マット・担架・衝立の3機能付き)、ジェルマット各1枚

富山県高等学校安全振興会様

・大型ブロック、滑り止め付きマット 日本教育公務員弘済会富山支部様



幼稚園

<秋の遠足>



9月27日、魚津水族館とミラージュランドへ遠足に行きました。事前に、見たい魚の名前を覚えたり図鑑やiPadで調べたりしました。

当日は、たくさんの水槽の魚やショーを見ました。大水槽のトンネルに入ると目の前で大きい魚を見ることができ、本物の大きさを実感しました。

また、体験コーナー「ガラエステ」で



は、手を入れるとガラたちが集まってきてドキドキ。「ふれあい水槽」では、カイやヒトデに触れたり手にのせたりしてじっくり観察することができました。

<学習発表会>

10月22日、学習発表会で「ブレーメンの音楽隊」の劇を発表しました。



幼稚園では、9月頃から絵本を読んだり、劇遊びをしたりしながらお話に親しみ楽しく表現して取り組みました。

和太鼓の演奏、跳び箱やマット運動、三輪車等、一人ずつの発表の場面がありましたが、練習を重ねることで上達し、当日は、それぞれが自信をもって発表することができました。



小学部

<学習発表会>

小学部は、「なまけ忍者」の劇を発表しました。どんな劇にしたいか、どんな役をしたいかなどについて考え、みんなで劇をつくり上げました。

練習を重ねるうちに、自分の役や劇の流れが分かり、自信をもって発表できるようになった児童。役になりきって気持ちを込めて演じることができた児童。8名の児童全員が達成感や満足感を得られたと思います。

最後の太鼓の演奏では、みんなの心を一つにしてリズムを合わせ、かっこよく劇を締めくくることができました。



<校外学習>

11月16日、イタイイタイ病資料館と四季防災館へ校外学習に行ってきました。

イタイイタイ病資料館では、映像や模型等の展示を興味深く見学したり、資料館の方の説明をしっかりと聞いて、イタイイタイ病の原因や当時の暮らし等について学習しました。

四季防災館では、消火体験と煙体験をしました。消火器の使い方の説明を真剣に聞いたり、実際に煙で前が見えにくい中を避難したりして、火事の怖さや避難の仕方を体験できました。



中学部

<修学旅行>

見聞を広め教養を高めたり、集団活動を通して公共の場にふさわしい態度を身に付けたりするために、11月1日から2日の1泊2日で関西方面へ修学旅行に行きました。

1日目はユニバーサルスタジオオジャパンで2つの班に分かれて行動しました。前もって班ごとに調べていた乗り物やアトラクション1つ1つを満喫することができました。



2日目は、大阪城を訪れ金の茶室を見たり、御座船に乗ったりしました。一枚岩の石垣に触れ、大阪城の大きさを実感し、歴史について学ぶことができました。

<奥田中学校との交流及び共同学習>

自己理解を深めるとともに、相互理解を図ることを目的として、交流活動を行いました。今年度は、3年ぶりに奥田中学校を訪れての交流となりました。



初めて訪れる生徒ばかりで、行く前はどの生徒もとても緊張していましたが、授業や部活動を通してとても親しく親切に接してもらえ、どの生徒も「行って良かった」と伝えてくれるほど、充実した交流活動となりました。

高等部

<修学旅行>

生徒相互の親睦を深め、主体的に行動する態度を養うため、高等部3年生の6名が10月26日～28日に東京方面に修学旅行に行ってきました。

チームラボの見学では、はだしになって水やバルーン、庭園などの空間に入り、それぞれのアートを体感してきました。浅草での雷おこし体験では、水あめが固まらないよう手早く混



ぜたり、平らに伸ばしたりして、おこしを作りました。生徒からは「水のアートが楽しかった」「また行きたい」と感想が聞かれ、生徒たちにとって思い出に残る修学旅行となりました。

<サッカー教室>

サッカーに親しみ、サッカーを楽しむことを目的に、富山県サッカー協会から指導者をお招きして、サッカー教室を行いました。ドリブルやリフティングなどの基礎練習や4チームに分かれてのゲームなどを行いました。指導者の方たちからたくさん声をかけていただき、生徒たちは懸命に楽しんでボールを追いかけていました。



北聾研

9月22日に北陸地区聾教育研究会研究大会が本校にて開催されました。一部来校を認める形のオンライン開催で、各学部の公開授業や分科会、全体講演会が行われました。「生徒の力を育むような主体的・対話的で深い学びの授業を見ることができた」「聴覚障害児の指導のポイント、ヒントをたくさん得ることができた」等多くの感想が寄せられ、学びの多い研究大会となりました。



読書週間

12月8日～12月14日まで、読書週間が行われました。生徒たちが書いた読書感想文や図書委員おすすめの本のポスター掲示、生徒たちの希望で購入された新刊図書、読書感想文等で紹介された本がロビーに配置されました。図書委員の生徒たちは、積極的に掲示や配置作業を行いました。期間中は、昼休みに読書感想文や本を読む生徒が多くみられました。



部活動

11月全国聾学校卓球大会香川大会に2名の選手が出場しました。1部男子では3回戦進出、2部男子で優勝という輝かしい成績を収めることができました。

障害者スポーツ大会をはじめ、その他の大会でも中学部、高等部の多くの選手が出場し、好成績を収めることができました。

10月には山形県で開催された全国聾学校陸上大会山形大会に高等部の生徒が1名参加し、自己のもつ力を十分に発揮することができました。



受賞・検定合格

<第26回全国聾学校絵画展> 佳作 小学部6年 和田 昊輝

<第29回青井中美展> 工芸部門 入選 中学部3年 安平 千太郎

<第59回全国聾学校卓球大会> 2部男子個人戦 優勝 高等部専攻科2年 程塚 麗矢

<第66回北陸地区ろう学校親善体育大会卓球競技> 1部男子個人戦 2位 高等部2年 森元 陸樹
中学部男子個人戦 優勝 中学部3年 安平 千太郎
3位 中学部1年 中川 翼

<とやまアビリンピック2022> 喫茶サービスB部門 銅賞 高等部2年 飯田 聖奈

<第22回富山県障害者スポーツ大会卓球競技> 2位 高等部2年 堺 琉莉
3位 高等部1年 倉谷 悠月

<令和4年度第2回日本漢字能力検定> 準2級 中学部3年 安平 千太郎

<2022年度第2回実用英語検定> 3級 中学部3年 安平 千太郎

